



真鶴中学校だより 第二四八号

鶴からの手紙

2023

2.28

責任者

市川 麻美

「令和四年度も残りわずか・・・」

三年生は公立高校受験(本日発表)、一、二年生は二〇日から三日間、今年度最後の定期テストを終え、それぞれにこの一年間の学校生活を総括する時期となりました。

これからの一ヶ月(三年生は卒業式まで一週間あまりしかありませんが...)、是非一瞬一瞬を大切に過ごしてください。

「Spring has come.」は、日本語に訳すと「春が来た」ですが、「ばね持つてこい」と「スプリング」の二つの意味をかけて笑話をする人もいました。古い英語で「スプリガン」=「突然動く」が由来で、「光が見え始める」との意味もあるそうです。

日本語の「春」の語源は、「発」「張」「墾(畑をはる)」など諸説あるようですが、どれも「動き」や「力強さ・勢い」を感じる文字だと思いませんか？

二十四節気の「雨水」を過ぎ、空から降ってくるのが雪から雨に変わる、

硬い土が軟らかくなる頃とされます。まだまだ寒い日は続くのでしょうか、そろそろ暗い季節を抜けて光が差し込んでくるはず。来年度は、通常の生活様式に近づいていくでしょう。私たち自身の気持ちを明るく、そして勢いづけて行きましょう・・・

令和五年は「うさぎ年」でもありますし、「jump up」しましょう！



『地区中学校生徒会役員研修会』

一月二十八日(土)に地区中学校生徒会役員研修会が、オンライン形式で行われました。本校から五名の役員が参加しました。一部の感想を紹介しましょう。

僕は、この研修会を通して、改めて生徒会役員としての責任感というものを感じました。今回初めて研修会に参加して、こういう立場に入れるのは学校の中心的存在の僕達だけなんだなと感じました。形がリモートだったとい

い意味で真似したいことが沢山ありました。この研修会で学んだことを活かして、中学校をより良いものにできるように頑張ります。

一年一組 宮川武瑠



え、すごくいい経験をさせてもらったなと思いました。そして、他校の各学校の取り組みは、全く違って、学校をこれからさらに良くしていくために、い

私がこの研修会で感じたことは、各学校での課題についてです。「生徒会の情報発信の場がない」ということが他の学校でも課題になっていることに驚きました。この課題以外にも他の学校と共通の課題がいくつかあり、どの学校の生徒会もみんな同じ悩みを抱えているんだなと感じました。

また、他校の取り組みの中で、私が取り入れてみたいと思ったことは、「生徒会体験」です。魅力的な生徒会活動の話の中に出てきた「生徒会体験」の内容は、目安箱の回収や集計など、生徒会で実際にやる活動を、一、二年生に体験してもらうというものでした。何も情報がないまま生徒会選挙を行わず「生徒会体験」で実際に生徒会で

やる活動がある程度知ってから立候補できたら、不安が少なくなり、選挙に出る生徒の数も格段に違ってくると思います。他にもフラワー大作戦や新聞作成など、私達が行っていない取り組みも知ることができてよかったです。

一年一組 志村歌夏

『全国学力・学習状況調査』事前検証

二月十六日(木)の五、六校時に二年生を対象とした、全国学力・学習状況調査の中学校英語「話すこと」調査のオンライン実施に向けた事前検証を行いました。

三つの教室に分かれ、担当から順番に説明を受け、Zoomに向かって話しかけ、録音をしました。実際に体験した生徒の感想を紹介します。

普段のテストは英語を聞いて書くのですが、今回の事前検証では、聞いてしゃべるテストでは、相手が質問をしてから答えるまでの時間が短いので



す。頭の中で素早く英文を作らなければ、質問に答えられないので、実際に外国の方に話をしてもらうような難しさがありました。

私は質問に対する英文を考えるのが精一杯で、頭の中では考えているのに、正しい言葉に出せずに間違えてしまいました。やはり聞いてしゃべるということは書くことより、やることが多く複雑でしたが、英語は喋ることの方が書くことより重要だと思うので、こうしたテストは定期的に実施した方がいいと思いました。

二年一組 大澤 輝之

『特別支援級 小中交流会』

毎年恒例の、小学校の特別支援級との交流会を二月十四日(火)に行いました。この日に向けて、年明けから内容を考えたりして取り組んでいました。その時の感想です。

私が一番楽しかったのは、カルタです。ひまわり組さんが作ってくれたカルタはダジャレになっていて面白かったです。エイド



リアン先生も参加してくれて白熱した戦いでした。

私たちは、ハンドベルの演奏と英語のクイズをしました。

ひまわり組さんたちが楽しんでもうよかったです。

一年四組 井林 愛万音

『年度末スポーツ 大会に向けて』

二月二十四日(金)の六校時に、三月二十二日(水)に開催するスポーツ大会に向けた会議を行いました。

実行委員が赤、青、オレンジの三色にグループ分けをし、行う競技も、サッカー、バレーボール、ハンドボールに決めました。それを受けて、誰がどの競技を行うかを、みんなで考えました。このとき、生徒が主体的に活動をするよう、教師は見守っていました。上手

く人数が合わずに困っていたグループもありましたが、何度も意見を聞きながら無事につながったよう



す。この経験を元に、来年度の運動会でも、実行委員会を中心として、ブロック決めなどを生徒主体でできることを期待しています。

『ふれあいの集い』

二月二十六日(日)に真鶴なぐら市に、「ふれあいの集い」として、青少年指導員の皆さまのご尽力で参加しました。今回は三年生と生徒会本部役員を中心に、三六名で参加しました。当日参加した生徒の感想です。

新型コロナウイルスの流行により、三年間ふれあいの集いができませんでした。

今月に入り比較的感染が落ち着いたので、例年とは違う形ではあります。が、実施することになりました。

チケットを販売して、スーパーボールすくいや駄菓子と交換という形でやりました。

僕自身初めてのふれあいの集いだったので、何をすればいいかわからなかったけど、声を掛け合いながら頑張りました。とてもいい思い出になりました。

三年二組 勝山 大輝

僕の中で楽しみな行事の一つが、このふれあいの集いでした。卒業前のこのタイミングでできたのはすごく嬉しいです。

当日は天気も良く、お客さんも僕ら思っていた以上に来てくれました。子ども達はとても楽しんでくれたし、大人や観光客とも交流ができたので、やって良かったなと思いました。

このような行事は他の学校にはない、町の人と交流できる行事なので、これからも大事にして続けていって欲しいと思います。

三年二組 露木 菜大

